

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	第26週	第25週	第26週		第25週		第26週		第25週		第26週		第25週		第26週		第25週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	11	6	2	4	3	6	2	4	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	30	30	9	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	9	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	133	183	15	0	21	0	5	0	9	0	0	0	0	0	10	0	12	0
感染性胃腸炎	202	220	47	16	59	19	45	10	52	6	0	4	0	5	2	2	7	8
水痘	56	23	34	38	5	15	20	16	3	11	5	14	1	4	9	8	1	0
手足口病	6	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	7	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	31	41	6	0	6	0	4	0	3	0	0	0	0	0	2	0	3	0
百日咳	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	7	8	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	22	35	13	14	20	26	0	0	0	0	0	0	0	0	13	14	20	26
RSウイルス感染症	42	41	5	1	5	4	5	1	5	3	0	0	0	1	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0		0		0
流行性角結膜炎	13	10	0	1	0	2	0	1	0	2		0		0		0		0

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

県中地域の状況
〈県中地域で水痘の流行が見られます〉
 県中地域で水痘の流行が見られます。
 水痘は、空気感染・飛沫感染・接触感染により広がり、その潜伏期間は感染から2週間程度といわれています。主な症状は、発熱、発疹、倦怠感等です。
 水痘の予防には予防接種が最も重要となります。1回の接種により重症の水痘をほぼ100%予防でき、2回の接種により軽症の水痘も含めてその発症を予防できると考えられています。定期的な予防接種は、標準的に1回目が生後12月から生後15月までの間、2回目が1回目の接種から3月以上経過（標準的には6~12か月までの間）してから行うこととなっています。発症及び重症化を防ぐためにも予防接種を受けることは重要です。



- 蚊媒介感染症は、病原体を保有する蚊に刺されることで起こる感染症です。主な蚊媒介感染症には、デング熱、ジカウイルス感染症、日本脳炎などがあります。
- 予防ポイントは「蚊を増やさない」「蚊に刺されない」ことです。
 - (1) 蚊の発生を減らすために、定期的に幼虫が発生しそうな水たまりを除去・清掃しましょう。
 - (2) 下草を刈るなど、成虫が潜む場所をなくしましょう。
 - (3) 屋外の蚊が多くいる場所で活動する場合は、できるだけ肌を露出せず、虫除け剤を使用するなど、蚊にさされないよう注意しましょう

水たまりの除去・清掃



下草刈り



蚊に刺されないための対策



詳しくは厚生労働省ホームページをご覧ください

画像引用：政府広報オンライン